

Cetuximab単独療法				
		Day		
薬剤名	用法用量	1		7
アービタックス (Cetuximab)	初回投与：400mg/m ² 点滴静注(2時間) 2回目以降：250mg/m ² 点滴静注(1時間)	↓		

1週間ごと PD (憎悪) まで

【Infusion reaction対策】

①Cetuximab投与30～60分前	抗ヒスタミン薬 (ポララミン注5mg点滴など)
②Cetuximab投与30～60分前	副腎皮質ステロイド (デキサート注6.6mg点滴など)

【基本事項】

EGFR陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS遺伝子野生型

【レジメンポイント】

- ①Infusion reaction予防薬の確認 (全グレード通して約20%で発現) 重度の症状が出た場合再投与しない
- ②重度 (Grade3以上) の皮膚症状が出た場合は250mg/m²→200mg/m²→150mg/m²と減量

【主な副作用】

Infusion reaction、皮膚症状、ざ瘡様皮疹・皮膚乾燥、爪囲炎、低Mg・K・Ca血症